

デイサービスはなび

デイサービスはなびでは先日
はなび文化祭を行いました。文
化祭では、ご利用者が一生懸
命作ってくださった一年間の作
品を展示して振り返ることで、
脳が活性化、そしてシナプソロ
ジーを行うことで脳が活性化！



さらに背中文字当てゲームを
行うことで脳が活性化！特にシ
ナプソロジーと背中文字当てゲ
ームでは、握手をしたり背中に
文字を書いたりご利用者様同
士が触れ合うことで、「手が温か
いね」「背中がくすぐったい
」と皆様にここに笑顔でし
た。



しばらくコロナ禍だったこと
もあり、ご利用者様同士が握手
をしたり直接肌に触れ合う機会
が減っていたため、文化祭での
皆様の笑顔を見て肌に触れ合う
ことはとても大切で良いことな
のだなと感じました。コロナや
インフルエンザなど感染症が付
きまとう季節ですが、これから
も感染対策はしっかりと実施し
ながら、ご利用者様同士で直接
肌に触れ合う機会をどんどん増
やしていきたいと思えます。

有料・あすなる北内

地方祭の最終日（二八日午
後）、地元の太鼓台である北内太
鼓台さんが施設に訪問してくれ
ました。

青年団や太鼓関係者の方が、
「ソーリヤツ、ソーリヤツ」と
太鼓台を勢いよく揺って下さ
り、綺麗に房が割れていたのが
印象的でした。



コロナの影響により二年振り
の訪問となり、利用者の皆様が
大変喜ばれていました。

これからも利用者の皆様が、
少しでも楽しく過ごして頂ける
様に、昔を懐かしんだり、季節
を感じて頂ける様なイベントを
企画・開催していきたいと思い
ます。



デイサービス菜の花

コロナも落ち着いてきた頃、
四国中央市はインフルエンザが
蔓延し、外出行事も出来ず、皆
様が楽しく過ごせる事は何だろ
うと考えました。

決まりきった刺激のない日常
が続けば、利用者様に限らず、
誰でも変化が欲しくなります。
ハロウィンなんて、と思わ
ず、「非日常」を取り入れ、脳や
身体を刺激する一つのツールと
して、ご利用者様、職員と一緒
に仮装を楽しむのはいかがでし
ようか。



ご利用者様も、「次はいつする
の？」と、楽しみにされてお
り、職員も負けず「次は何に
仮装しようか、全身タイツか」
と、考える毎日です(笑)。

「ミヤンマーから悠遊社へ」
二〇二一年の軍事クーデター以降、政治・経済・社会ともに深刻な危
機に直面しているミヤンマーから、未来を求めて若い人たちが悠遊社へ
集まりました。
現在、ベトナム・フィリピン
・モンゴル・そしてミヤンマー
と、アジアの各地から日本の、
福祉の世界へ挑戦しています。
十一月末現在、約百名の外国人
の労働者が活躍していて、おお
よそ全社員の1割を占めていま
す。県内には一万人ほどの外
国人労働者が働いています。
その第一線の現場の一つが悠遊
社で、これからはますますグロ
バル化していくでしょう。

ゆうゆう土居 中井友佳里



今夏から始まった、介護福祉
士を取得する為の実務者研修。
それも、折り返し地点に差し掛
かり、青々としていた木々はい
つしか綺麗な紅に染まっていま
す。 毎日の現場での仕事に加
え、週一回の松山での研修。
眠い目を擦り、ともに研修を受
ける同じ職場の同僚と共に、職
場ではなかなか話せない女子ト
ークを楽しみにまつたりと進む
社用車。 研修では、愛媛・香
川の悠遊社の方々と楽しく、時
に厳しく教えて下さる先生方。
初めは、「こんな年齢になつて覚
えられるのであろうか」と漠然
とした不安を覚えたが、沢山の
「友」と一緒に互いに教え合
い、考え合い、そのような不安
はすぐに消えていった。
時には上手くいかない事もあ
り、大変だと思ってしまうが、
これもそれも全て、私達を必要
として下さるご利用者様がいら
っしゃるから。 今日も同行二
人、熱心に励みます。

「はばたき園」(愛媛県松山市
中野町704)に菊を見に行きま
した。丹生谷宗久オーナーが丹
精して育てられた菊が毎年十一
月には豪華絢爛に咲き誇り、一
般公開されています。



大輪や懸崖(けんがい)の菊は
挿し木、接ぎ木、余分な芽を取
り除いたり、園芸品種の中でも
非常に手間の
かかるもので、
これだけの美
しい花を咲か
せるご苦労が、
ひしひしと伝
わってきます。

また、別な日には松山城の
「松山城二之丸史跡庭園」へ紅
葉を見に行きました。



十一月の初めは、まだクーラ
ーが必要な日もありましたが、
あつという間に短い秋を過ぎて
冬がやってきました。 今年はい
んフルエンザが猛威をふるつ
ているようで心配ですね。

さて、たまに聞かれるのです
が、「この新聞はどんなソフトで
作っているのですか」という疑
問で、実はワードで制作してい
ます。皆さんのパソコンにも入
っていると思いますので、事業
所のチラシや新聞等を作るとき
には、ぜひワードをご利用くだ
さい。エクセルでは出来ない機
能が豊富です。 この上の段の
周囲をぼかしたり丸く抜いた
り、基本構造の段組みも簡単に
作れます。

十二月は施設でもたくさんの方
のイベントがあると思いますが、
写真を撮って新聞やwebへの
ご投稿をお待ちしています。

令和五年も、十二月を残すだ
けになりました。 昨年は新型
コロナによる大きな打撃を受け
ましたが、今年には健やかに、平
和に年が越せることを願ってお
ります。

おくづけ
株式会社悠遊社
発行
編集 広報担当
連絡先 愛媛県松山市余戸南
二、二四、三十八
電話 〇八九九六五、一九九〇
連絡先 koho@vivyusya.co.jp
配布 令和五年毎月一日